林業機械に万全のサポート体制

サービスカレッジ 林業機械コースを開講

住友建機では当社サービスマンを対象に林業機械の整備技術を専門にしたサービスカッレッジを開講。お客様への満足度向上のため、さらなる技術向上を目指して取り組んでいます。

迅速対応の部品供給体制を確立

お客様からのオーダーへ速やかに対応できるよう、林業機械アタッチメントの補修部品を弊社部品センターに常時在庫。迅速かつ確実な供給体制を確立しています。

住友建機の林業機械 LINEUP

ハーベスタ仕様　SH75X-3B 20SH

ハーベスタ仕様　SH120-5 25SH

ハーベスタ仕様　SH135X-3B 25SH

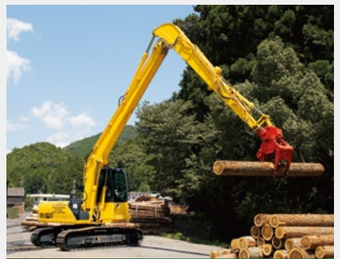
ハーベスタ仕様　SH75X-3B 20RHS

ハーベスタ仕様　SH120-5 25RHS mkⅡ

スイングヤーダ仕様　SH75X-3

木材グラップル仕様　SH135X-3B

木材グラップル仕様　SH120-3



スミマックス　SH200LC-5SM

住友建機株式会社　〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1（ThinkPark Tower）☎03-6737-2600
ホームページアドレス　http://www.sumitomokenki.co.jp

1208©05T-6

SUMITOMO

森友

SHINYU
vol.01

Contents

林業現場レポート

有限会社 萬造寺林業
鹿児島県
SH135X-3
KESLA 560SH

三次地方森林組合
広島県
SH75X-3
KESLA 20SH

美山村森林組合
和歌山県
SH75X-3B
KESLA 20SH

有限会社 二和木材
岩手県
SH120-3
KESLA 25RHS

Product Information
New Line Up

林業機械に万全のサポート体制

住友建機の林業機械 LINE UP

PHOTO:和歌山県美山村

水源を守り、土砂の流出を防ぐ保安林の整備。機械化で生産性も安全性も大幅に向上。

有限会社 萬造寺林業

鹿児島県いちき串木野市春日町

SH135X-3（KESLA 560SH）

地山治水の要、不断の森林整備事業

河川の氾濫を防ぎ、美しい国土を守るために不断の森林整備は欠かせない。水源を守り土砂の流出を防ぐために保安林の整備は、いまでも営々と行われている。作業の中心は、不要な木を間引く間伐である。

「高度成長期に伐採をし、植林したところが、いま間伐の最盛期を迎えている」そう語るのは有限会社萬造寺林業の萬造寺輝男社長である。

父の力氏は串木野森林組合・萬造寺林業作業班の班長として、長く林業にかかわってきた。小学生の頃から父親の仕事を手伝ってきた輝男氏は、さまざま職業を経て家業を継ぐことを決めた。

機械化、合理化を経営の旗印に

社長に就任した後に参加した林業関係者を集めた研修会で初めて会社の利益につながる知識を身につけたという。それまで人手で行っていた伐採から搬出までの作業を、思い切って機械化したのである。機械を導入することで当初負担も大きかったが、売り上げも大幅に増加した。機械を導入して2～3年目から県内での間伐需要が急増したことも幸して売り上げは右肩上がりで推移している。

有限会社萬造寺林業は地元でもいち早く機械化を進めたため、それから数年は同業者がたびたび視察に訪れた。

生産性と安全性を向上

その有限会社萬造寺林業が2007年、SH135X（KESLA560SH）を導入した。他社製品の商談も進んでいたところ、デモでSH135Xを借り、ヒノキを1本玉切りしたところで会長（先代社長）が「これを買え！」の一言で導入を即決した。

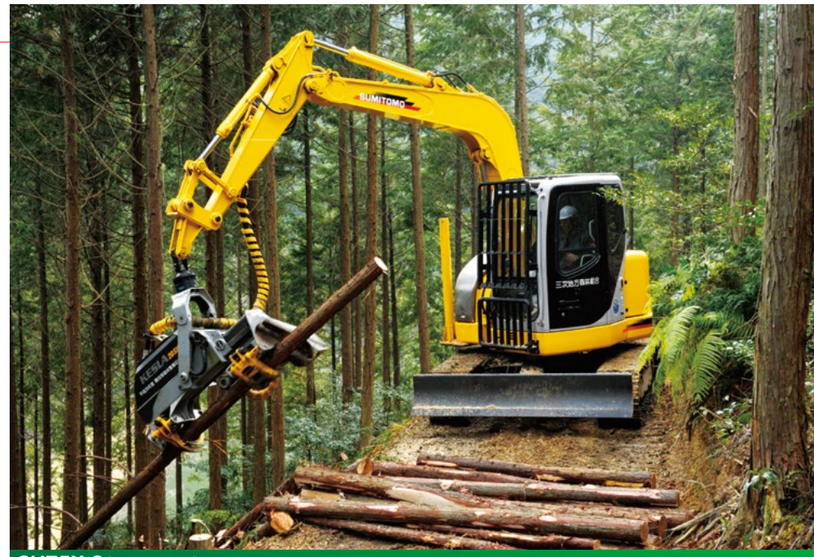
「立ち木の伐倒、枝払いから測尺・玉切りまでアタッチメントの動きに無駄がなく、誤差もほとんどありません。ショベルも小旋回タイプなので立ち木を傷つけることもなく操作もしやすい」また、間伐材を所定の長さに切る玉切りの際に、チェーンソーで足を傷つけることもあったが、そうした事故もなくなった。仕事量も年々増えているが機械化で対応することで、生産性は大幅にアップ。早めに機械を導入して収益を伸ばし、借入金を減らす経営は順調に進んでいる。

萬造寺輝男社長（中央）と社員の皆さん

林業の生き残りをかけて、提案型集約化施業を積極的に推進。

三次地方森林組合

広島県三次市東酒屋町


SH75X-3（KESLA 20SH）

効率的な森林整備を目指して

「この広島県北は森林所有者の高齢化が進み、森林管理ができない状況にある。できれば森林組合に任せたいという気持ちの人が多いんです。」そう語るのは三次地方森林組合の山田組合長。それをきっかけに取り組んだ「低コスト林業団地の推進」はいまや29団地にものぼる。そんな三次地方森林組合は効率的で安定した林業の実現に向けて『提案型集約化施業』に取り組み、確実に実績を伸ばしている。その手法として低コスト林業団地を設定し、森林所有者と長期受委託契約を結び、組合が森林管理を行っているのだ。「間伐していい材を残して山を整備すれば、利用間伐もできて収益を得る可能性もある。多目的人工林を管理することで長期的に安定した事業も確保でき、材価が上がってきたときに低コストで搬出できれば利益の還元ができる。それが効率的で安定した林業の仕組みなのです。」山田組合長は語る。

山田満之組合長

森林施業プランナーと高性能林業機械

提案型集約化施業に取り組むには高性能林業機械の導入と、それを管理する森林施業プランナーの育成が必要と山田組合長は考えている。森林施業プランナーは森林整備や路網設計の知識、コストの計算や事業体経営の理解が必要だ。三次地方森林組合には7人の森林施業プランナーがいる。彼らは様々なデータを分析し、それを基に森林施業プラン書を作成、森林所有者に提示して契約する。しかし、搬出材積など単価の見極めが甘いと森林所有者への還元ができなくなる。「いままでは“どんぶり勘定的な見積り”で担当者によって見積りが違うという課題を抱えていましたが、森林施業プランナーのおかげで見積りの基準ができた。」と参事の邉見さんは高く評価している。また高性能林業機械を使った作業システムも従来のシステムと比べ大幅に労働生産性を高めた。今回訪問した現場でSH75X-3 KESLA20SHを操作する守岡さんは、ケスラー社のエンジニアが作業VTRを見て「このテープ早回ししていないか?」と驚くほど、操作技術が優れたオペレータである。その守岡さんは「この機械は枝払い能力が高く、作業のストレスを感じません。また、即尺の誤差が非常に少ないので安心して作業ができます。現場は斜面が急で作業道も狭いところが多いのですが、このハーベスターはチルト式なので斜面角度にあわせて木材を力強く引き上げて枝払い・玉切りもスムーズに行えます。」とKESLA20SHを高く評価する。

補助金はいずれ終わるのだから

国からの助成制度として補助金があるいまのうちに、提案型集約化施業の準備を進める必要があると山田組合長は語る。「補助金はいずれ終わるのだから、制度があるうちに団地をしっかり作り、林業機械化を導入して作業路網を作るなど条件を整備しておけば、助成制度がなくなっても森林所有者との長期施業受委託のなかで森林整備ができ、長期的に安定した事業が確保できるのです。」また、山田組合長が森林施業プランナー育成研修会で必ず述べる言葉がある。「提案型集約化施業は林業の生き残り作戦だから、しっかり性根を入れて研修せよ。」提案型集約化施業によって森林所有者との信頼関係を築き、長期的に持続可能な林業経営を目指す三次地方森林組合に周囲からの期待も高い。

機械化と「緑の雇用」により、低コストかつ効率的な素材生産を目指す。

美山村森林組合

和歌山県日高郡日高川町

SH75X-3B（KESLA 20SH）

林産技術の向上とコスト意識の改善

美山村は、和歌山県のほぼ中央部に位置し紀伊山地に囲まれた94%が森林という村。和歌山県内でも林業に盛んな地域にある美山村森林組合だが、木材価格の低迷により平成16年度には一時林産事業がほぼゼロという時期があったという。そこで翌平成17年、間伐材搬出に着手。「森林所有者への収益還元」を目的に、林産技術の向上とコスト意識を高め、平成19年からは「機械化の推進」「作業道の整備」「森林の団地化」「提案型施業」など、低コスト化による間伐材の安定供給体制づくりを進めた結果、平成17年の素材生産に比べ約5倍以上という実績を挙げている。

機械化と「緑の雇用」※を推進

美山村森林組合では、年間6000m^{3}の間伐材の生産を目標に少数精鋭型の林産班づくりや「森林の団地化・集約化」を通じた利用間伐を計画的に行い、提案型施業への取り組みを積極的に進めている。その少数精鋭の林産班、いわゆる現場作業に従事する人の多くは緑の雇用事業で採用された人々で、美山村森林組合では作業班の半数以上を占める。また、機械化も早くから導入した。今回訪問した現場でSH75X-3　KESLA20SHを操作する鉢本さんはオペ歴1年半という若手のオペレータ。「最初はボタンがたくさんあって操作もぎこちなかったけど、今じゃもう大丈夫。KESLA20SHだったら5cmくらいの枝打ちも問題ないし、測長もスムーズで誤差も少ない。」と胸を張る。しかし、この機械の導入に至る過程は決してスムーズではなかった。森林整備担当の山口大輔主任にとって、当初KESLA20SHへの印象は芳しくなかったという。「広島の展示会で見たときは、ちょっと動きが遅くて使えんな…と思いました。それからしばらくして近くの同業者さんの現場でデモしていたので、ちょっと乗ってみたんです。そしたら意外と動きが速くてパワーもある――すぐにこの機械を導入するようにお願いしました。」現場は急な斜面と林道幅2.5mと険しいところにあり、ここで谷から材を引き上げるのにはパワーが必要。この機械は他社製品に比べ圧倒的に力が違う。その力強さは枝を切る作業においてもいかんなく発揮され、さらにもう一台の導入を計画しているという。

オペレータの鉢本さん

美山村森林組合の皆さん

和歌山でも評判の勉強熱心なオペさんたち

林業を生業とする人のことを彼ら自身で「山師」と呼んでいる。林業は一人前になるまで10年かかるといわれる難しい仕事。「いくら機械化が進んでも、山を知らなければ役に立たないこともあります」と山口主任は語る。当社販売代理店（株）キナンの岸本所長は、現場に来るたびに感心するそうだ。「美山村のオペさんは、和歌山でも評判の勉強熱心な人ばかりです。私どもから数台納めさせていただいており、かならず改造の依頼が入るのですが教えられることばかりです。美山村さんに納めた仕様で他のお客様に持っていったら、使いやすいと褒められたこともあります。」緑の雇用で森林整備の担い手は充実し、高性能林業機械の導入によってさらに低コストによる間伐材の安定供給が実現していく――その相乗効果は計り知れない。

※「緑の雇用」とは林野庁の補助を受けて全国森林組合連合会が実施する「緑の雇用担い手対策事業」のこと。未来へ豊かな森林を残していくために必要な森林の担い手を育成していく事業。

機械化が進んでも「さすが」といわれる林業マンに。目指すはグリーンマイスター!!

有限会社 二和木材

岩手県岩手郡滝沢村

SH120-3（KESLA 25RHS）

チップショックを契機に機械化へ

小笠原社長の前職は学校の先生。それが父親の仕事を引き継ぐことになり林業の世界へと入った。昭和47年に会社組織とした二和木材だが、創業当初から苦境を迎えることになる。オイルショックだ。「とにかく一生懸命働いた。そんな記憶しか残っていない。」と小笠原社長は語る。しかし平成に入るころ安い外国材の輸入により製紙会社が国内産チップの購入を抑制した、いわゆるチップショックといわれる時代を迎えることになる。小笠原社長は「外国材に対抗するために安く材をつくるにはどうしたらよいか。それには機械化は不可欠だった。」と当時を振り返る。これを契機に導入したプロセッサから二和木材の機械化が始まった。

高性能林業機械の導入により作業システムを確立

二和木材では主に、一般建築材・合板材・製紙用チップを生産している。木の種類はカラマツ、アカマツ、スギ、広葉樹と多様である。年間の生産量は18,000m^{3}と県内では大手に入る企業だ。チップショックを契機に導入した高性能林業機械も、いまではプロセッサ、フォワーダ、グラップルなど13台の機械が稼動している。しかしハーベスタ（SH120-3 KESLA25RHS）を導入したのは2006年と、まだ日が浅い。導入の背景には間伐作業の増加もあるが、それまでプロセッサとチェンソーで行っていた伐倒作業の安全性を向上させたいという狙いもあったという。二和木材の作業員は全員、すべての機械を操作できるよう徹底した操作研修を実施している。機械化の導入により作業の改善・コスト意識の向上を図りながら、作業の簡素化と効率的な素材生産システムを確立していった。

小笠原啓次郎社長

アッといわれるくらい仕事ができる林業マンに

二和木材には熟練の作業員が見立つ。今回取材した現場でSH120-3 KESLA25RHSを操作する丹内さんは70歳を越えたベテランだ。この機械の導入は丹内さんの意見によるものが大きかった。「送材の力強さとスピードが他社とは歴然と違っていた。しかも、太い幹でも軽々と枝払いができる。そんな性能の高さに惚れ込み、会社にこの機械の導入をお願いしました。」最近、二和木材にも高卒の新入社員が入るようになった。小笠原社長は若い従業員に対して「与えられたものをこなすだけじゃ競争には勝てない。いくら機械化が進んでも、その場その場で工夫する力を育てたい。」と言い聞かせているという。農業との兼業ではなく“林業の専門職”として、誇りを持って林業に取り組んでほしい。そしていつの日か、アッといわれるくらいの仕事ができる林業マンに育ってほしいと目を細めた。

New Line Up

よくできた林業機械、さらに拡大。

自然の尊さを肌で感じ、その保全を担う林業だからこそ、さらなる環境性能・運動性能・快適性能を。オペレータが、経営者が、そして時代が求めるパフォーマンスを携えて——林業機械のLEGESTベース化は、さらに加速する。

SH200LC-5SM

SH75X-3B
20RHS

SH120-5
25RHS mkⅡ

KESLA HARVESTER ハーベスタ仕様

油圧ストローク方式 | SH75X-3 20SH

ハーフストローク:特許申請中

立木の伐倒から枝払い、測尺、玉切り作業まで1台に集約。

■ハーベスタ仕様（油圧ストローク方式）

製造メーカー	型　式	コントローラ	重量(kg)	枝払い径(mm)	玉切径(mm)	適用機種
KESLA	20SH	モトミット	560	30～450	450	SH75X
	25SH	モトミット	930	30～600	600	SH120、SH135X